

Q. お米の一部が黒くなっているものがありました。これは何でしょうか？

A. これは斑点米とよばれるちので、出穂時～乳熟期にカメムシが籾の中のデンプンを吸い、その跡が黒く変色したものです。このカメムシは異臭がするカメムシとは違います。稲を加害するカメムシは数種が知られていますが、主なものは、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、ミナミアオカメムシなどです。

また、地域により発生するカメムシの種類は異なり、夏に高温少雨の年はカメムシの発生が多くなります。斑点米の混入が多いほど米の等級が下がるため、産地での課題のひとつとなっています。産地での除去は農薬の過剰散布となるため難しく（当給食会は毎年残留農薬検査を行っており安全を確認しております）、搗精工場での搗精段階にて色彩選別機を用い白色の粒以外を除去し、混入を防止しています。

併せて、給食会指定炊飯工場でも目視により選別作業により更に除去を行っていますが、100%取り除くことはなかなか難しいのが現状です。なお、黒点は食べても健康上問題はありませぬ。



▲カメムシの被害により黒く変色したお米

大型のカメムシ類（体長1~1.5cm）

小型のカメムシ類（体長約0.5cm）



クモヘリカメムシ



ホソハリカメムシ



アカヒゲホソミドリ  
カスミカメ



アカスジカスミカメ



斑点米

写真1 カメムシ類及び被害を受けた玄米  
（農業環境指導センターホームページから転載）